

麻績村シニアクラブ会報

第74号 2021(令和3)年10月20日発行

麻績村シニアクラブ連合会

第12回

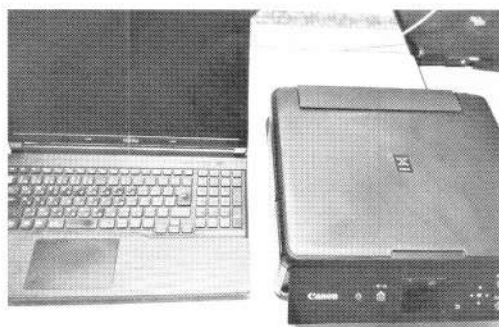
麻績村シニアマレットゴルフ交流会



各賞品を発表する役員



誰に賞品がいくのか？
皆が注目



シニアクラブ専用のパソコンとプリンター

令和3年7月20日第12回マレットゴルフ交流会が開催された。一時的にコロナ禍の終息が見られての開催となり、皆ひさしぶりの外での交流会であり、参加者56名での張り切った大会となる。
今回の大会ではパソコンを利用して成績の集計の迅速化を図って、順位、各賞の発表を、皆を長時間待たせることなく処理できるよう試み、導入した。

「パソコン利用」
成績表の集計、
迅速な対応を図る

叶里高畑、90歳
今回マレット成績
スコア『60』ハンデ『10』
第12位



小口 泰利さん

第12回 特別功労賞

明治町、91歳
今回マレット成績
スコア『67』第5位



伊藤 義昭さん

第11回 特別功労賞

元気はつらつ
特別功労賞
競技者紹介

市・町・村シニアクラブ連合会 ブロック研修会開催

6月22日松本統合社会保険センターにて、ブロック研修会が開催された。

麻績村シニア連合会から、若林会長以下3名が参加し各ブロックの活動事例発表及び講演を聴講する。

活動事例発表は松本市、安曇野市、上松町、白馬村の各市町村シニアクラブの活動発表であり、発足より最近までの活動の内容報告兼ねての発表であった。

講演は『充実したシニア



市町村シニアブロック研修会会場

麻績村シニアクラブ 全体役員会開催

ライフのために」と題しライフデザインセンター理事の久島和子先生による講演で今後大変な課題となる、後期高齢者の介護、医療のサービスが必要とする人の増加、自己負担はどうなるのか、等の問題を具体的な例をふまえての話であった。

令和3年6月14日(月)交流センターにおいて全体役員会が開催された。

協議事項

- (1)経過報告
- (2)シニア連主催マレット交流会について
- 7月20日実施の交流会について協議。
- 秋実施予定のマレットについては第5波のコロナ禍の禍が予測される為中止となる。

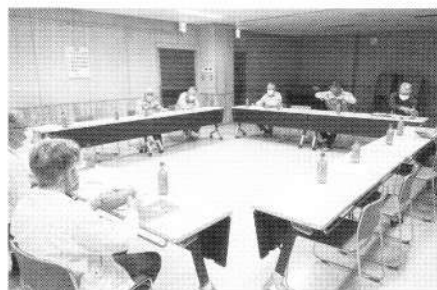
(3)親睦研修旅行について今年度、コロナ禍のため中止。

(4)北部3村交流会

昨年度、コロナ禍で中止。今年は筑北村当番村となっており、グラウンドゴルフ大会を実施する計画とのことで協議する。後日連絡で10月26日筑北村グラウンドゴルフ場にて役員のみ参加で実施の決定となる。

(5)雑巾寄付の協力について11月月末までに提出

(6)その他
ふくしのつどい『中止』
麻績村敬老会『中止』



シニア全体役員会
(地域交流センターにて)

第12回マレット関係写真集

2021年7月20日麻績村看護マレット交流会参加者 総集

順位	地区	氏名	性別	歳	生年月日	実績	ハンデ	合計	順位
1	麻績	藤原 幸子	女	89	1936.12.10	58	0	58	1位
2	麻績	田中 幸子	女	74	1947.8.3	66	0	66	2位
3	麻績	水野 幸子	女	78	1943.11.5	66	2	68	3位

順位	地区	氏名	性別	歳	生年月日	実績	ハンデ	合計	順位
1	麻績	藤原 幸子	男	85	1936.11.11	55	0	55	1位
2	麻績	藤原 幸子	男	71	1950.4.25	41	0	41	2位
3	麻績	藤原 幸子	男	77	1944.2.21	42	0	42	3位
4	麻績	藤原 幸子	男	78	1943.11.19	40	4	44	4位
5	麻績	藤原 幸子	男	93	1928.12.3	27	0	27	5位
6	麻績	藤原 幸子	男	78	1943.6.9	41	0	41	6位
7	麻績	藤原 幸子	男	71	1950.5.13	47	0	47	7位
8	麻績	藤原 幸子	男	85	1936.11.19	48	0	48	8位
9	麻績	藤原 幸子	男	77	1944.6.24	48	0	48	9位
10	麻績	藤原 幸子	男	77	1944.3.3	41	0	41	10位
11	麻績	藤原 幸子	男	74	1947.8.1	45	0	45	11位
12	麻績	藤原 幸子	男	50	1971.11.16	40	10	50	12位
13	麻績	藤原 幸子	男	76	1945.7.24	70	0	70	13位
14	麻績	藤原 幸子	男	86	1935.11.18	45	0	45	14位
15	麻績	藤原 幸子	男	72	1949.2.28	71	0	71	15位
16	麻績	藤原 幸子	男	72	1949.7.31	71	0	71	16位
17	麻績	藤原 幸子	男	74	1947.3.6	72	0	72	17位
18	麻績	藤原 幸子	男	86	1935.11.13	73	0	73	18位
19	麻績	藤原 幸子	男	82	1939.11.3	73	0	73	19位
20	麻績	藤原 幸子	男	79	1941.2.11	73	0	73	20位
21	麻績	藤原 幸子	男	85	1936.11.3	74	0	74	21位
22	麻績	藤原 幸子	男	81	1940.2.29	68	0	68	22位
23	麻績	藤原 幸子	男	80	1943.11.6	68	0	68	23位
24	麻績	藤原 幸子	男	81	1940.3.4	76	0	76	24位
25	麻績	藤原 幸子	男	78	1943.11.26	76	0	76	25位
26	麻績	藤原 幸子	男	88	1933.1.20	75	0	75	26位
27	麻績	藤原 幸子	男	82	1939.6.11	76	0	76	27位
28	麻績	藤原 幸子	男	79	1942.11.6	76	0	76	28位
29	麻績	藤原 幸子	男	73	1948.5.16	76	0	76	29位
30	麻績	藤原 幸子	男	72	1949.3.8	78	4	82	30位
31	麻績	藤原 幸子	男	71	1950.4.23	74	2	76	31位



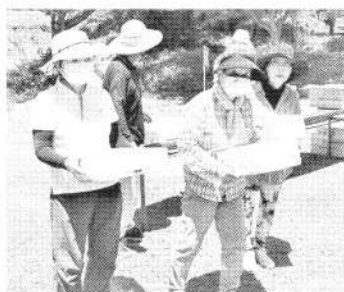
女性部上位入賞者



全体部上位入賞者



会長から
賞品を授与される入賞者



賞品を授与され喜びの入賞者

第12回マレット大会
(パソコン利用しての成績表)

支部便り

市野川 りんどうクラブ

りんどうクラブから活動報告を致します。春は6月に花畑2ヶ所に黄色コスモス、マリーゴールド、コスモスの植付けをし、7月暑い中、会員で草取り、草刈を行いました。雑草の繁茂、黄色コスモスは鹿の食害にあいましたが、8月より現在まで満開に咲き国道添い



市野川りんどうクラブ活動

を賑やかにしております。9月初旬市野川神社の清掃、参道の草刈を行いました。

話題の一つ、聖高原の北アルプスの眺望が一番良い場所に初めて別荘を建てられた、川嶋浪速翁の書が市野川公民館の床の間に掛けられております。「勤農は国の本に在り」と書かれており、原文は「國本在勤農」です。前々回会報に執行部の塚原さんが「農は国の基」と農業の現状を憂いておりましたが意見に同感致します。会員の皆様寒い季節に向かいますが、体を動かして快食快眠で一日一日を元氣よく過ごしましょう。

(市川金男)

桑山長寿会

塚原文武さん 単位クラブ
会長 新たに就任

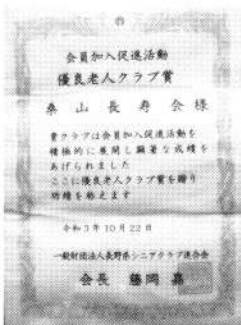


塚原文武さん

麻績村から委託され15年 間生ゴミの収集と堆肥化施設の管理に従事していたために私は長寿会の会員でありながら会議や行事には一度も参加しなかった。そんな私が桑山長寿会役員総会で会長に推薦され5月引き継ぎ会で受諾した。

元より経験不足で、何かから活動するのかわからないので前会長を始め役員の皆様の指導の下、任を全うしたいと思う。令和3年度会員加入促進活動優良シニアクラブとして県シニアクラブ連合会より県総会日の10月22日付けで表彰しました。これは先輩会員の皆様のご健闘の賜と感謝をします。

コロナ禍で活動も制限されていきますが、健康に留意し交流を深めてまいりたいと思います。(塚原文武)



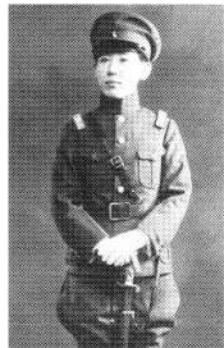
優良老人クラブ賞

川島芳子のこと

男装の麗人と言われ、時には東洋のジャンヌダルクとも言われた、川島芳子さんを中年以上の方は知っている人が多いと思う。

中国清王朝の王女に生まれ、清朝の滅亡後、松本藩士の家系である川島浪速の養女となって来日した。

東京の小・中学校を経て浅間温泉に転居、松本蟻ヶ崎高校へ乗馬で通学する姿は語り草となった。七色の光彩を放つという魅力的な女性で、知性、奇智にすぐれ、輝くばかりの美貌は幾多の話題でジャーナリズムを賑わせた。



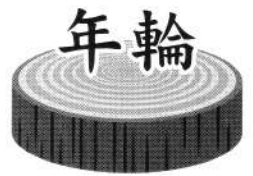
川島芳子 軍服姿

民を救うことのみを思い、常々「私は半分は中国人、半分は日本人よ、このままでは日本の大陸政策は失敗する。もつと中国人と日本人は理解し合えるような政策を進めないと両国民が駄目になる」と激しい口調で批判していたそうである。川島芳子さんの二百余首の短歌、詩が収録されている「真実の川島芳子」より短歌二首
一輪の花に情をことづけ
て我は眠らんすべもなきゆえ
誰知るや夜明けくればこ
の涙をば、花にかえして笑
みている身を。

芳子さんは松本市蟻ヶ崎の正隣寺川島浪速墓地に埋葬された。(一説には北京で

ナリズムを賑わせた。中国・日本で華々しく活躍したが、国民党により逮捕され、北京監獄にて四十歳で、美しき大輪の花は刑場の露と消えてしまった。何故芳子さんはスパイ容疑で逮捕されなければならなかったか。アジアの復興、世界の平和を願い、中国の

処刑されたのは芳子さんではなく、重い病気の身代わり女性であり、芳子さんは長春郊外で30年間、72歳迄生き続けた、との説も伝わっているとの事)
正隣寺墓地の自然石の墓碑に合掌、黙祷し冥福を祈り、敬意の中帰路についた。(塚原勝美)



阿部^{もえお}萌生と白井忠兵衛^{かたしろ} 二人の形代展に思う

萌生と忠兵衛の形代展は、令和3年8月28日〜9月5日まで麻績の交流センターで開催されたが、平成5年3月麻績インターオープン以降に生きながらえる麻績の人達にとり、断じて忘れてはならない時空を超えた郷土が誇る文化人の足跡展であったことである。

忠兵衛は安政5年生まれ、53歳にして五百羅漢の制作を思い立ち、以後20有余年1200余体を制作したが、それらの木像や彫刻は門外不出で手放したことはなかった。60歳を過ぎた頃彫刻家・池田尚哉氏から木彫を本格的に学んだ。

ふたりの形代展にかかわった旧麻績本陣中橋16代目当主の白井良雄さんに展示会の会場で阿部萌生さんともバッタリ逢い、その時良雄さんが力を込めて言われたのは、忠兵

衛の木彫りが自然木の姿かたちをそのまま像の精神性として生かして刻まれているという点、漠然と傍らにあった自然美はすでに山を軸に動物・植物そして人も連なっていた。麻績人が好んだ俳句も主眼はその見えにくいものを見つける訓練とも言える。人々は毎日美を見出す観察眼で過ごしていた。

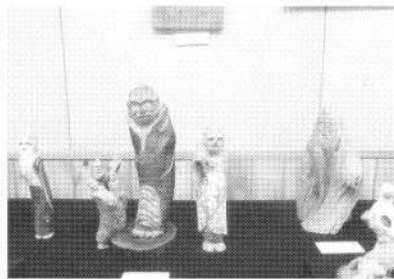
山崎斌の生家麻績の父・忠兵衛の抱えていた麻績の文化背景は、急速な都市化、近代化で「大量生産の人形化されそうな人々」の不安に応えた、都市に集まった文学者たちが着目する古の肥沃な土壌、パツクグラウンドの山だったとも思える。―と力説された。

萌生は、1944年(父は河合玉堂門・阿部六陽、母は山崎斌の次女 山崎朝子)20歳で衣装人形の文化財保持者・野口園生に師事した。

衣装人形の制作技法は、木彫、桐塑(とうそ)、桐材の粉(もつぶん)と正麩糊(しょうふのり)を練り合わせた粘土状の材料で造形する技法)などで表地を作り胡粉(こふん)仕上げ、木目込み、布貼、紙貼、彩色などで仕上げを行うものです。(刈間 豊)



交流センター 展示会ポスター



麻績村地域交流センター展示品



阿部萌生さんと白井良雄さん 本人 左から2人目

矢倉橋開通

8月31日 午前10時

安全祈願祭、渡り初め式 令和3年8月31日、矢倉橋開通となる。

午前10時竣工式、安全祈願祭及び渡り初め式終了後渡り初めとなり出席者全員で渡る。

●施業者 株ヤマウラ、平林建設株式会社

●総事業費 1億7200万円

●事業経緯 令和元年〜令和3年

●構造物概要

橋長、23・9m
幅員、5・0m(車道)



安全祈願祭

矢倉橋渡り初め



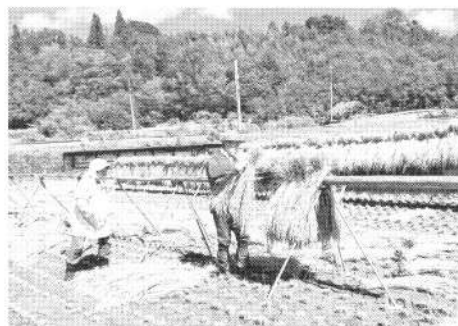
編集後記

旧暦8月15日、夜中にふと目覚めて、外に出てみた。煌々と輝く「中秋の名月」しばらく見上げていて自分の来し方を思う。

80年近く生きて、人並みに結婚し、人並みに子を生んでそして夫を見送った。また今年も、秋の實りに感謝した。

さて、これからの私の人生そのしまい方、旅立ちのデザインを考える時だ。

(宮下はるよ)



今年の秋の實り ハゼ掛け作業